

## ひょうごのユニバーサル社会づくりと介護について

兵庫県では、年齢や性別、障害の有無、文化などの違いにかかわらず、安心して暮らし、一人ひとりが持てる力を発揮して元気に活動できる「ユニバーサル社会」をめざしています。

また、高齢者の福祉や介護サービスについて、3箇年ごとに兵庫県老人福祉計画（介護保険事業支援計画）を定めており、次期計画では高齢者の方が可能な限り住み慣れた地域において、自立した日常生活を営むことができるように、「地域包括ケアシステム」を作っていくこととしています。

については、今後のユニバーサル社会づくりの具体的な取組や、兵庫県老人福祉計画の改定の参考とするため、県民モニターの皆さんのご意見をいただくことといたしましたので、ご協力をお願いします。

まず、ユニバーサル社会づくりについてお聞きします。

【参考資料1：ユニバーサル社会・デザインとは】

【参考資料2：ひょうごユニバーサル社会づくり総合指針】

【ユニバーサルデザインの認知度】

Q1 あなたは、「ユニバーサルデザイン」という言葉や考え方を知っていますか。

言葉も考え方も知っている

言葉は知っているが、考え方は知らない

全く知らない

【ユニバーサル社会を目指したまちの整備状況】

Q2 あなたがお住まいのまちは以下の項目について高齢者や障害者など誰もが住みやすいように整備されていると思いますか。

(1) 歩きやすい歩道

よく整備されている      ある程度整備されている      どちらともいえない

あまり整備されていない      ほとんど整備されていない

(2) 歩道の点字ブロック

よく整備されている      ある程度整備されている      どちらともいえない

あまり整備されていない      ほとんど整備されていない

(3) 車いすを使用される方が通行できる幅の広い歩道

よく整備されている      ある程度整備されている      どちらともいえない

あまり整備されていない      ほとんど整備されていない



【だれもがくらしやすい社会環境づくりに必要なこと】

Q 4 だれもがくらしやすい社会環境づくりを進めるために、今後、重点的に取り組んでいく必要があると思うものを選んでください。(2つまで)

- ユニバーサル社会づくりの考え方の普及
- 学校教育や生涯学習の場でユニバーサル社会づくりについて学ぶ機会の充実
- ボランティアなどのユニバーサル社会づくりの担い手の育成
- だれもが使いやすいユニバーサルデザイン製品の普及
- 様々なニーズに応えるような行政サービスの質の向上
- 情報をわかりやすく確実に伝えるしくみの整備
- 自立し安心して暮らせる住まいづくりの推進・支援
- 安全・快適に活動できるまちづくりの推進
- 高齢者や障害者、女性などの就業の支援
- 地域のコミュニティづくりの支援
- 文化や芸術、スポーツなどを通じた交流の推進
- わからない
- その他( )

次に介護についてお尋ねします。

【参考資料3：介護保険制度の仕組み】

【参考資料4：地域包括ケアシステム（用語解説）】

【介護経験の有無】

Q 5 あなたは今までに介護を受けたり、介護をしたりした経験がありますか。  
ある  
ない

Q 6 あなたは「地域包括ケアシステム」という言葉や内容を知っていますか。  
言葉も内容も知っている  
言葉は知っているが、内容は知らない  
全く知らない

【健康のために大切だと思うこと】

Q 7 あなたご自身が健康を維持し、介護が必要な状態にならないために大切だと思うことは何ですか。(いくつでも)

- 休養や睡眠を十分にとる
- 栄養バランスの取れた食事をとる
- 規則正しい生活を送る
- 気持ちを明るく保つ
- 散歩や体操・スポーツをする
- 健康診断などを定期的に受ける
- 多くの人と話す機会を持つようにする
- 酒やタバコを控える
- 地域の活動やボランティア活動に参加する
- その他(下欄にご記入下さい)

--

【健康のために実行していること】

Q 8 あなたご自身が健康を維持し、介護が必要な状態にならないために普段から実行していることは何ですか。(いくつでも)

- 休養や睡眠を十分にとる
- 栄養バランスの取れた食事をとる
- 規則正しい生活を送る
- 気持ちを明るく保つ
- 散歩や体操・スポーツをする
- 健康診断などを定期的に受ける
- 多くの人と話す機会を持つようにする
- 酒やタバコを控える
- 地域の活動やボランティア活動に参加する
- その他(下欄にご記入下さい)

【介護が必要となった場合の対応】

Q 9 あなたご自身・ご家族が介護の必要な状態となった場合、自宅と施設どちらでの介護を望みますか。(施設には、特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)だけではなく、介護老人保健施設、認知症高齢者グループホーム、医療機関等も含まれます。)

- (1) あなたご自身の場合
- |        |        |       |
|--------|--------|-------|
| 自宅での介護 | 施設での介護 | わからない |
|--------|--------|-------|
- (2) ご家族の場合
- |        |        |       |
|--------|--------|-------|
| 自宅での介護 | 施設での介護 | わからない |
|--------|--------|-------|

【介護するうえで困難や不安を感じること】

Q10 介護をしていて、または将来介護をすることになった場合に、困難や不安を感じることは何ですか。(施設入所を含む)(いくつでも)

- 金銭の負担が大きいこと
- 介護による身体的な負担が大きいこと
- 介護により健康を害すること
- 家族や親戚の理解が得られないこと
- 自分の時間がなくなること
- 仕事をこれまでのようにできなくなること
- 介護がいつまで続くかわからないこと
- 介護の仕方がわからないこと
- 介護される人の状態がさらに悪くなるかもしれないこと
- 常に気を配り、気持ちを張りつめていなければならないこと
- 自分が介護している人に対して、つい辛くあたってしまうこと
- 介護保険制度が十分理解できていないこと
- 特に困難や不安を感じない
- わからない
- その他(下欄にご記入下さい)

【介護保険料とサービス水準のあり方】

Q11 介護保険料とサービス水準のあり方について、当てはまるものを選んでください。

【参考資料5：介護保険料について】

保険料が高くなっていいから、介護サービスを充実してほしい  
保険料も介護サービスも現状程度でよい  
介護サービスの水準を今より抑えても、保険料が低くなるほうがよい  
わからない  
その他（下欄にご記入下さい）

--

Q12 今後、介護保険制度に期待することがありましたらご自由にお書きください。

--